

奄美海上保安部便り

石井国土交通大臣奄美海上保安部視察



石井大臣を囲んで記念撮影



石井大臣出迎え

1月6日(日)、石井啓一国土交通大臣による奄美海上保安部の視察がありました。

視察は、巡視船「あまぎ」において実施され、出迎え後に「あまぎ」乗組員によりブリッジライン救助訓練を披露しましたが、途中、大臣自らがロープを引いて訓練に参加される嬉しいハプニングがありました。

業務概要説明後の職員激励では、平成13年の「九州南西海域工作船事件」に触れられ、当時最前線に対応した奄美海上保安部は我が国の誇りであったとの発言がありました。

笑いのある和やかな場面もありましたが、職員一同改めて気が引き締まった2019年のスタートに相応しい一日となりました。



ブリッジライン救助訓練



石井大臣が飛び入りで訓練に参加



業務説明



職員激励



石井大臣見送り

年末年始のフェリーターミナル警戒



マスクの取材もありました

帰省客等で混雑する年末年始に、奄美市名瀬港のフェリーターミナル及び接岸したフェリー船内において、テロ及び犯罪を未然に防止するため特別警戒(12月28日、29日、1月2日、3日)を実施しました。

ターミナルは乗客や出迎え、見送りの方で連日混雑していましたが、皆さんルールとマナーを守って行動されていて、特段の事案が発生することはありませんでした。

三機関合同で緊急連絡先PR

三機関合同でPR



1月5日(土)、奄美市名瀬港の観光船バースにおいて、奄美警察署、大島地区消防組合、当部の三機関合同で緊急連絡先110番、118番、119番のPR活動を実施しました。

活動には、奄美警察署からパトカー・白バイ、大島地区消防組合から消防車、当部から巡視船「あまぎ」が参加し、乗車体験や潜水服の試着を実施したところ、見学に来ていた方々に盛況で、子ども達も各機関の仕事を楽しく体験しながら緊急連絡先を覚えてくれました。

鹿児島航空基地MH機と合同訓練



2月2日(土)、鹿児島航空基地所属のMH機(ヘリコプター)と巡視船「あまぎ」が連携し、救急救助を目的としたリペリング降下訓練を実施しました。(「リペリング降下」とはロープを降下器に通して降下する方法です)

当日は、うねりで船体が大きく傾斜する荒天(訓練の目的からすると絶好の訓練日和です)でしたが、機動救難士は悪天候をものともせず、降下地点を定め迅速且つ的確に降下していました。

「名瀬港西防波堤灯台」 灯塔引揚げ



引揚げの状況



引揚げた標体



報道機関の取材状況



防波堤の先端に設置した仮灯

2月5日(火)、昨年奄美群島を通過した台風24号により倒壊した、「名瀬港西防波堤灯台」の灯塔の引揚げを行いました。(正規位置から北へ約30m、西へ約250m、水深約13mの海底から)

新しい灯台は、今年の9月までに設置する予定で、それまでの間は、防波堤の先端に設置している仮灯の利用をお願いします。

危険物荷役岸壁及び荷役船舶の点検指導



2月8日(金)、奄美市名瀬港の佐大熊地区において、危険物荷役岸壁(多量の危険物を荷役するために特別に許可を得た岸壁)及び危険物荷役船舶の点検を実施しました。
 当日は、「第二伯菱丸」に積載された危険物(ガソリン、軽油)を貯蔵施設に移送する作業に立ち会い、安全管理体制、貯蔵及び防災設備、荷役船舶の安全対策、移送手順などの確認を行いました。
 点検の結果、適正に一連の作業が行われていることが確認でき、危険物荷役時の安全作業と船舶の安全運航の継続をお願いして終了しました。

漁協婦人部への海難防止講習会



2月14日(木)、奄美漁業協同組合の婦人部の皆様を対象に海難防止講習会を開催しました。
 事故の発生状況、原因、予防策などについて説明しましたが、一つの話題があちらこちらに脱線し、質問も普段の講習会より多く、想像した以上に有意義な会となりました。
 まとめ「一番の防止策は、ご家族からの呼びかけです」と話したところ、皆さん普段から取り組まれてはいるものの、改めて賛同されていました。
 合わせて海難防止のポスターのモデルをお願いしたところ、快く引き受けて頂きました。(ポスターは次年度作成予定です)

巡視船「あまぎ」「かいもん」訓練紹介

年頭訓練



夜間潜水訓練



強行接舷訓練



レンジャー訓練



救急救命訓練



救助訓練



もやい銃発射訓練

巡視船「あまぎ」、「かいもん」乗組員は、発生する事件、事故に迅速且つ的確に対応するために、普段から各種訓練に鋭意取り組んでいます。

1月から3月に掛けて実施した訓練の様子をピックアップして紹介します。

「漁船セーフティラリー」無事故達成



奄美群島における漁船海難の撲滅を目指す「奄美群島漁船セーフティラリー2018」を、平成30年7月1日から12月31日までの6ヶ月間実施しました。

奄美群島の全漁業協同組合が参加し、組合員の皆様が一丸となって期間中の無事故に取り組み、今回は、宇検村漁業協同組合、喜界島漁業協同組合、とくのしま漁業協同組合、沖永良部島漁業協同組合、与論町漁業協同組合が無事故を達成されました。

1月から3月に掛けて、漁協に伺って無事故達成の認定書とメダルを贈呈しました。セーフティラリーは、次年度も継続して実施していく予定です。

天皇陛下御在位三十年慶祝行事



2月24日(日)、天皇陛下御在位三十周年をお祝いするため、巡視船「かいもん」に満船飾を施し、「名瀬港東防波堤灯台」に万国旗を掲揚しました。

今回の慶祝行事は、全国一斉に午前8時から日没の間実施されており、華やかに飾られた巡視船や灯台がお祝いの雰囲気を高めました。

〔満船飾〕

国際信号旗(B旗及びQ旗を除く)を、船首から各マストにわたり船尾に連掲し、船尾の旗ざお及び各マストの頂に国旗を掲揚するものです。

海の事件・事故は118番



奄美海上保安部

〒894-0034 鹿児島県奄美市名瀬入舟町22番1号

TEL・FAX 0997-52-5811